

## 船上風景の見所・立ち寄り観光地

※写真は全てイメージです。撮影は「せとうち島たびクルーズ」航路上からのものではございません。



**【広島港・江田島沖】**  
江田島や宮島、四国方面へ向かう船が多数発着する広島港。港を出ると江田島沖には多数の「かきいかだ」や、穏やかな瀬戸内海に浮かぶ美しい島々がクルーズ船の旅を盛り上げてくれます。



**【呉湾】**  
瀬戸内海のほぼ中心に位置し、明治時代に呉鎮守府が設置されたことが契機となり軍港として発展した港です。現在は海上自衛隊呉基地があり、艦船や潜水艦などを間近に見ることができます。



**【音戸の瀬戸】**  
本州と倉橋島の間にある海峡。狭い可航幅、多種多様な船舶が通行する交通量の多さが特徴。平清盛が1日で切り開いたという伝説も残ります。



**【安芸灘大橋】**  
本州と下蒲刈島をつなぐ「安芸灘とびしま海道」の入口に架かる橋。瀬戸内海を連想させる水色の橋が美しい瀬戸内海とマッチしており、船の上だからこそ楽しめる大迫力の絶景が見所です。



**【御手洗（大崎下島）】**

江戸時代から風待ち、潮待ちの良港として栄えた御手洗は、人と情報が集まる要衝として発展し、現在も残るその町並みは、1994年に重要伝統的建造物群保存地区に選定され、2017年には日本遺産の認定を受けました。また、明治以降の洋風建築や昭和初期の看板なども点在し、時代に応じた発展の跡をとどめており、歴史情緒にあふれたエリアです。



**【大久野島】**

1971年、地元の小学校がウサギ8羽を島に放したことからはまり、現在は700羽超のウサギが生息しています。いまや国内外から人気のある大久野島ですが、戦時中、日本軍が毒ガスを秘密裏に作り、地図自体からも存在を消された悲しい歴史も。島内には毒ガスを精製していた痕跡が残っています。



**【瀬戸田（生口島）】**

レモンの名産地として知られるとともに、平山郁夫美術館、耕三寺博物館・大理石庭園「未来心の丘」といった観光名所も豊富で、食とアートを楽しめるエリアとして人気の瀬戸田。しまなみ海道レンタサイクルの貸出も行っています。



**【多々羅大橋】 ※新規ルート**  
幅が約900mの海峡に架かる国内最長の斜張橋。兩岸とも平野部が狭くすぐ山が迫る立地条件にあり、その鳥が羽を広げたような美しい姿は見る者を圧倒します。



**【鼻栗の瀬戸】 ※新規ルート**  
大三島と伯方島の間急流で知られ、幅が300m程しかなく、瀬戸に架かる大三島橋は、白銀の色が美しく、アーチ状の橋としては東洋一の規模を誇ります。まるで川のように白波が立つ瀬戸と、自然美と人工美が融合した景観の中を船舶から一望できる絶好のビューポイント。



しもかがりじま  
【下蒲刈島】 ※新規立ち寄り

さんの瀬  
三之瀬瀬戸の急潮を借景に、松を主樹としたみどり豊かな落ち着いた潤いのある庭園で、江戸時代に隆盛を極めた歴史と文化を紹介した「松濤園」、ここに所蔵される資料がユネスコの世界記憶遺産に登録されています。また、多くの漢学者らが訪問し、交流を深めた茶室は壁が回転する珍しい「どんでん返し」のからくりをみることが出来る「白雪楼」、日本建築に則った荘厳で静寂な雰囲気の中、国内外で著名な近代美術作家の作品を展示する「蘭島閣美術館」などの文化施設が多数存在しています。



【三原】 ※新規立ち寄り

「タコのまち」として有名であり、タコ刺し等の新鮮なタコ料理を食べることができる店が多数あります。また、市内にある竜王山山頂からは、瀬戸内海随一と呼ばれるせとうちの多島美を見ることができます。